

令和4年6月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

6月期は、新型コロナウイルスの感染者数が落ち着きを見せ、行動制限もなく、行政の需要喚起策もあって、飲食業・旅館業や小売業等の非製造業にあつては、景況感が改善した業種が多い。

一方、原油高騰等によるエネルギー全般の値上げや、原材料不足・価格高騰により、食料品や木材・木製品、機械等の製造業を中心に、価格転嫁が進まず収益を圧迫していることから、景況感は悪化している。

全体としては、景況感は横ばいとなっているが、再びコロナ感染が拡大の傾向を見せ、また、世界情勢が不安定となっていることから、今後も、厳しい経営環境が続くと懸念する声が高まっている。

山口県の主要指標 DI 値（令和4年6月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：40.0% DI 値：▲33.7% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：23.8% 減少：36.3% DI 値：▲12.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：33.8% DI 値：▲31.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（令和4年6月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲62.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲11.1	0.0	▲40.7
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
0.0	▲50.0	▲40.0	0.0	▲45.5	▲28.6	▲100.0	▲29.2
							

全 体
▲33.7


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	菓子業界は気温の上昇と相反して売上が下がる傾向にあり、6月の高温は売上に大きく影響する。依然として売上はコロナ前に戻っていない。	調味料製造業
	光熱費やガソリンなどの石油関連製品の価格が大幅に上昇し、それに関連した材料などが値上げされ収益が圧迫されている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	魚の水揚げ量が大幅に減少し、魚価（原料魚）の高騰が続いている。働く人が高齢化しており、人手不足が続いている。	水産食料品製造業 長門市
	面接は終わっているが、外国人技能実習生の申請が遅く入国も送れ、人数が減るばかりで各企業困っている。冬に向けて準備が始まっているが、実習生の入国が遅れると生産量にも関わってくる。	水産食料品製造業 下関市
	売値は変えず内容量を減らして実質的な値上げを凶っている。原材料・資材費等の値上げの影響が出てくるのは今後である。買控えによる更なる売上減少が懸念される。	
	6月は、コロナの感染状況も落ち着きが見られ、飲食店も通常営業となってきたが、原油価格の大幅な上昇とロシアのウクライナ侵攻による原料不足等による各種コストの増加により、製造原価が上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。ウクライナ情勢も4ヶ月が経過したが、全く終息する気配は無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格も上昇している。	精穀・製粉業
繊維工業	現地へ行けず、オンラインで面接を行っている状況。	下着類製造業
木材・木製品	建築・木材業界全体が低迷しており、地域の工務店は四苦八苦の状況。ウクライナ紛争でロシア材が入荷困難となり、赤松材が不足している。関連商品の高騰品薄と原油高や円安による便乗値上と思われるものもある。値上がり前に材料を押さえておきたいという建築業者の駆け込み需要が少々あるだけである。	製材業・木製品製造業 岩国市
	当組合のコロナによる影響が出始めた時期は、令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年6月に比べ25%の減少、コロナ禍の令和3年6月と比べ20%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材販売については、高値で安定している。「ウッドショック」による木材の調達難については全般的に解消傾向である。電	製材業・木製品製造業 山口市

	<p>気代、ガソリン、灯油、軽油等、エネルギー全般の値上げが経営に大きく打撃を受けている。</p>	
印刷	<p>売上についてはコロナ禍の昨年と変わらない。雇用調整助成金等で資金繰りはなんとか回っているが、収束が見込まれる秋以降が不安である。最低賃金については30円以上を上げる方向でいる。</p>	印刷 山口市
	<p>インバウンドの再開や各自治体の県民割実施等、経済活動の活性化に向けた動きが見えて来たものの、長期化するウクライナ情勢に伴う様々な物品の物価上昇が国民の生活に影を落とす状況となっている。各業界においても、原材料の値上げが企業収益の悪化を招き、価格転嫁していかなければ社員の賃金も上がらない、賃金が上がらなければ物価上昇により実質賃金は減少するという労働者にとっては厳しい状況である。また、価格転嫁が続けば、社会全体のインフレに繋がり、右肩上がりの経済成長でない現在では好ましくない状態といえる。印刷業界も同様であり、受注額の回復と収益の確保が経営の最大の課題であるものの、従来のノウハウでは対応出来ない時代になってきた感がある。</p>	印刷 下関市
窯業・土石製品	<p>6月より、建設物価調査会の山口県単価が上がった。県単価は7月1日より反映される。</p>	コンクリート製品 製造業
	<p>7月以降の鋼材値が、更に20%程度上がるとの事前情報がある。お客様への値上案内に苦慮している状況が続いている。</p>	
	<p>出荷量は、前月比81%、前年同月比94%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定しているが値上げの動きがある。</p>	生コンクリート 製造業
	<p>円安や原油高は無縁だと思っていたが、円安については製品の輸入価格の不安定さ、原油高については燃料費の高騰等で改めて考えさせられる。先を見据えて如何に見積価格を決定するか、悩むところである。</p>	石工品製造業
	<p>6月の売上高は、小売り・卸売り共に前年同月比で若干の増加だが、萩市の観光客は、コロナ前の状態に戻っていない状況。6/2～6まで行われた「全国暮らしの器フェア IN 福岡」では萩から5社が参加。初開催にもかかわらず、多くの売上をあげることができた。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	<p>5月より周南コンビナートの大型定修工事が続いており、6月前半は各企業とも繁忙期であった。中旬からは少し落ち着き、全体的には、継続して昨年並みの忙しさであった。しかし、コロナ感染者、濃厚接触者が頻繁に出ていることで、なかなか予定が立てづらい日々が続いている。</p>	一般機械器具製造業 下松市

	<p>ここ半年は繁忙で残業も休日出勤もあったが、この先暫くすると減少の見込み。円安の影響で、輸出業界は、1年後にピークがくるのではと期待している。原材料価格の高騰がどこまで続くのか先行き不透明である。時間外労働減少などの働き方改革の影響のため、労働者の所得が下がる恐れがあり、個人消費の落ち込みが景気の後退につながるのではないと思われる。受注も見積も変わらずあるが、原材料費の高騰と購入品の納期未定が増加し、その対策に困っている。この状況の改善見通しはなく、機械の納入予定の日程、工程の組み方、立替の資金などで様々な悪影響を及ぼし、売上が減少している。鋼材材料は毎月のように値上げが続いているが、鉄鋼材料の高止まりの割に受注単価が下落しており、鋼材の上昇分が受注単価に追いついていない模様。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルス蔓延による企業業績への影響はなく、中国のコロナ対策もひと段落である。ウクライナ情勢の影響で資源高、資源不足が徐々に経済に影響を及ぼしてきているが、現段階で、業績に大きな影響は出していない。3月から外国人の入国が出来るようになり、外国人技能実習生、特定技能者も順調に受入れが出来ている。コロナの影響で遅れていた外国人技能実習生の面接も進んでおり、8月頃から新規の受入れが出来る予定である。企業もさらなる増員を希望するところが多いが、円安の影響は大きく、都会の高賃金に対抗できず募集しても人が集まりにくい状況である。</p> <p>依然として原材料価格の高騰が続き、収益を圧迫しているが、さらに円安の影響が心配される。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
<p>輸送機器</p>	<p>鉄道車両関係は順調に推移しており、国内業者の今年度の受注は確保の見通しであるが、再来年度以降の新車両計画は大幅減少見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。半導体は、例年の2～3倍の受注量で引き続き好調。工場新設中で2～3年は順調に推移の見通しである。原材料や燃料費の高騰が相次いでおり、価格転嫁がすぐには厳しい。</p>	<p>鉄道車両・ 同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>海苔、いりこは順調な在庫が行われているが、いりこについては品質は良いものの高価格で購入出来ず、在庫が例年に比し大幅に少ない。海産物は入出庫とも順調で、総売上は前年同時期より約30万円程度増加しており、コロナ前に比べてもやや増加している。</p> <p>コロナ感染者の減少により、商品の売上が増加に転じている。</p>	<p>乾物卸売業 各種商品卸売業 山口市</p>

小売業	<p>新型コロナウイルスが落ち着いてきたが、売上は依然厳しい状況。「元気にやまぐち券」(クラウドファンディング)等のお得な券を利用したの買い物をするために、お客は発行を待っているのではないかと考えられる。コロナ終息が近づくにつれて、リニューアルをするお店も増えており、お手入れ等の接客のスペースを充実させた接客重視の専門店らしい店作りをしている模様。これからは店頭でのタッチアップが増えるため、人材育成や施策に力を入れていかないといけない。</p>	化粧品小売業
	<p>各社、7月～8月にかけて機械商品の値上げを控えているため、通常であれば値上げ前の駆け込み需要が期待できるところであるが、世界的な部品の供給不足等により、現行の機械商品の在庫がなく納期も大幅に遅れるため、売上に直結しない状況にある。</p>	農業用機械器具小売業
	<p>エアコン確保のための仕入れで一時的に資金繰りが悪化した。6月の暑さのために商品が不足している状態の中、販売が出来ている。7月もエアコンの売上が期待できるが、商品の確保が必要。</p>	機械器具小売業
	<p>前年同月比 22.2%の売上減少。売上内訳では駐車場売(サービス券売上)は前年比増加となったが、駐車場売上(現金)、ホール売上が大幅減少となり前年比では売上減少となった。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>5月の売上は対前年比 42.3%の大幅増加。GW期間が天候に恵まれ大量集客となったこと、コロナの影響が軽減したことにより市内県内客や他県客が大幅に増加した。6月は6/24時点で対前年同月比 25%増加と好調に推移。県民割や萩市のお買い物クーポン券の取り扱いが増えたことにより、コロナ前の水準を上回る売上となっているが、消耗品・資材関係の値上げによる収益圧迫が心配である。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>6月の供給高は対前年同月比 97.3%、来店者数 96.5%と低迷。4月の供給が良かったので、累計では対前年比 100.4%、来店者数 98.8%。コロナ感染者数が減ってきて、With コロナ生活で日常が戻ってきたように思う。</p>	各種商品小売業 下関市
	<p>コロナによる影響は限定的なものになってきたが、市況はコロナ前に戻ることはなく、With コロナの取り組みが様々に行われるなど、景気回復にはほど遠い印象は拭えない。コロナ明けの今のタイミングで閉店、廃業する店が多いが、逆に開業する店も多い。消費行動の活性化に先駆けて、投資が進んでいる側面もあり、うまく発展することを祈るばかりである。</p>	岩国市
<p>コロナは多少落ち着いたものの、人通りは相変わらず少ない。物価高の影響で消費も鈍いようである。</p>	宇部市	

	商店街の人出も多くなってきている。「多少増加した程度であり、これからが勝負なので人出があるだけ良しとしないといけない。」と店主は話す。	萩市
	「維新・海峡ウォーク」が開催されたが、ウォーカーの人数を減らしての開催だったので、思ったほど来街者数は伸びなかった。平日は、天候の影響もあるが、商店街内が閑散としている日がかかり見受けられる。	下関市
サービス業	早期に梅雨も上がり暑くなってきたので、来店も早まり、6月下旬から7月にかけて5%~10%の客数アップが見込めそうである。	美容業
	新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるが、ウクライナ情勢を契機とした燃料高騰や物価上昇により、来店サイクルが長くなり厳しい状況にある。	理容業
	整備事業経営者の高齢化が進み、事業承継が整った事業者は新技術対応等に向け取り組んでいるが、後継者がいない事業者は新技術への対応が難しくなり、組合の退会が増えてきている。現在の自動車は、電子制御されており専用のテスターがないと整備ができないなど、高齢の事業者や整備士は対応できなくなってきており、事業を止めざるを得ない結論に至っているようである。M&Aを活用した事業譲渡を行うことで、整備事業者の減少を食い止めたいところだが、高齢経営者は敷居が高いようで当組合への相談もないまま幕引きが行われている。	自動車整備業
	会員の入会が微増の傾向。	スポーツ・健康教授業
	5月に引き続き原油高が経営を圧迫している。また、梅雨明けが早く、真夏の気候になったことから、真夏の閑散期が早く来てしまうことが懸念される。コロナ騒動も落ち着きつつあるので、経済活動の再開に伴うクリーニング需要の増加に期待したい。	普通洗濯業
	6月に入り、プレミアム商品券など、購買意欲の増加に繋がる様々な取り組みと、コロナの落ち着きにより、活気がもどってきたと思っていたが、7月に入り、また感染拡大傾向がみられ始めた。世論が再び過剰に反応しないように願っている。	飲食業
	前年同月比で300%のJR売上となった。残念ながら、JR西日本と組合との販売契約は6月で終了となり、7月からは組合員各自での対応となる。	旅行業
	新型コロナウイルス感染対策の規制が緩和され、県民割及び隣県割の利用者拡大により前年を大きく上回ることが出来た。しかしながら、コロナ前の令和元年6月と比較すると売上比71.4%、宿泊人員比89.3%となった。1ホテルの大浴場改修工事で6/8-7/7まで全館休館があり、施設数の減少が影響したものと思われる。	旅館業 山口市

	売上高は前年同月比 12%増加し次第に平常の環境に戻りつつあり、コロナ対策の緩和が影響したと思われる。入浴者数も 10%増加しているが、高温な気候の状況により外出控えの傾向がある。	旅館業 長門市
	団体客が動き出した。土・日は観光客でほぼ満席。行政の後押しもあり、県外からの宿泊客も伸びてきている。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 125 件(当支部 109 件)、前年同月 115 件(同 107 件)。太陽光発電への申請 37 件(前年 31 件)、オール電化申請 57 件(前年 59 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 9 件(前年 8 件)であった。	電気工事業
	業界は縮小傾向にあるが、隣県でも施工している事業所、絶えず若年者を採用している事業所は相対的な優位性を保ちながら事業継続していくものと思われる。	左官業
	6月の官公需の入札案件は例年並みの件数が受注でき一安心をしている。また、民需の住宅関連の工事も増えつつあり、組合の書類整理・仲介も忙しくなっている。周南地区の新型コロナウイルスは増加傾向の中、組合・組合員への直接的影響は今のところ無いが、人手不足は依然として解消できておらず、忙しくしている。	管工事業
	廃業もあり組合員数が減少。組合の財政も年々厳しくなっているが、組合の原点に立ち返り、互いに助け合うことの必要性を確認した。景気の先行きが不透明であり、物価もインフレ傾向が強く、世界規模での景気後退が予想されている。ウクライナ情勢も予断を許さない中、複合的な要素が絡み合う予測が困難な景気となりそうである。	一般土木工事業 柳井市
	6月の受注高は、対前年同月比 0%。令和 4 年度の累計では、対前年比 59.0%。6 月は受注がなかった。	一般土木工事業 萩市
	令和 4 年度の第 1 四半期 (R 4. 4 月～6 月) の長門地区公共事業受注高は、例年の約 3 割弱であり、長門地区の公共事業の発注率が例年に比べ非常に低い。7 月を注視する。軽油等の値上がりが収益に影響している。	一般土木工事業 長門市
	材料価格の高騰により新規案件の成約が厳しくなってきた。計画変更、見直し、延期が増加しており、受注残・見積物件数ともに低調となっている。	鉄骨・鉄筋工事業
	輸送関係はコロナの減少がみられず、輸出向け輸送は減少、国内向け輸送は近距離がやや増加したものの収支対比は 0.6%の減少。燃料費関係は 4.7 円の値下げ。燃料費は下がったものの輸送量は減少。中小零細の運送業者にとっては軽油引取税がなんとかならないかとの声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市

	<p>幾分、改善方向にはあるが、依然として部品調達難が続いており、自動車関連については引き続き厳しい状況。7月に入っても半導体不足が囁かれており、生産調整に入るところもありそうだ。燃料価格は高止まり状態にある。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>輸送に関しては、生活雑貨用品などの動きが活発である。特に都市圏ではコロナ明けの雰囲気から購買が活発になっているが、輸入の遅れなどの影響がでている模様。半導体不足、世界情勢の不安定から、様々なものの値上げ、納期遅れが目立っている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+45.8%（令和4年5月1日～令和4年6月20日分）だった。5月1日～31日分は+37.5%、6月1日～20日分は+59.3%。前々年もコロナ感染の影響があったので、前々年度比では、それぞれ+66.1%、+96.4%、+36.3%になる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。5月分については、周南+31.3%、下松+44.4%、光+44.4%、防府市地区は+49.8%で、組合員の全域では+40.0%、地区外（員外）+23.1%、合計+37.5%（+3,270千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPは減少したが（前月910\$/トンが今月805.0\$/トン、前年500.0\$/トン）、プレート（輸送）コストが上昇（前月9,400円/トンが今月10,200円/トン）した。為替も円安（前月126.98円/\$が129.81円/\$）。燃料単価は前月より▲5.7%と下がったが前年6月比+40.9%であり、燃料費高騰に対する補助金があるようだが、たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。ウイズコロナで、需要が回復しつつあるが、コロナ感染発生が収束しきってはおらず、深夜の飲食業関連は回復が遅れているようだ。ウクライナ問題によるインフレ不況への懸念もあり、コロナ前の状況（5月分令和元年比▲39.1%）に戻るには、まだ時間がかかりそうに思われる。</p>	一般乗用旅客 自動車運送業
	<p>6月の売上高は対前年同月比で減少。昨年度の実績が良かったための相対的な減少である。</p>	港湾運送業 山陽小野田市
その他	<p>組合員の募集では、外国人技能実習生の入国時期が明確でないことや、介護業界で人員不足があるものの技能実習生の受入れに消極的な姿勢であること等が見受けられる。受入れた際の教育や職場内での雰囲気、文化、風習、価値観、言語の違いによるトラブルなどの懸念の声を聞く。コロナで失業した人が介護の業界に入るなど、コロナ前程の人材不足にはなっていない様子である。</p>	介護事業